

2011年7月12日

報道機関各位

＜大震災＞出版対策本部

東日本大震災被災地域の小学生への図書カード寄贈について

私ども出版3団体（日本書籍出版協会、日本雑誌協会、日本出版クラブ）は、①読書環境の復活、②図書販売環境の復活、③それらを通じた人々の心の復活、という目標を掲げて「＜大震災＞出版対策本部」を発足させ、日本出版取次協会、日本書店商業組合連合会など関連団体とも協力し合いながら復興支援活動を行っています。

この度、活動の一環として、岩手・宮城・福島三県の被災地域にある教育委員会管轄の小学校児童を対象に、図書カードを贈らせていただくことにしました。これまで対策本部では避難所や被災地の図書館などを中心に図書の寄贈を行ってきましたが、やはり自分で好きな本や雑誌を選んで買って手元に置ければ、読書の楽しみも倍増します。

子どもたちが自由に行動できる夏休みに活用してもらえるよう、なんとか夏休み前に渡したいとの思いから、各県教育委員会の方々と協議し、さらに各市町村教育委員会のきめ細かなご協力をいただき、本日（7月12日）、発送作業を完了することができました。

詳細は、以下の通りです。

- * 寄贈総枚数：13万2210枚（岩手県13,155枚、宮城県89,605枚、福島県29,450枚）
- * 1枚当たりの入力金額：1000円
- * 寄贈先小学校数：岩手県——104校、宮城県——258校、福島県——146校
- * 送達手段：佐川急便

※この件に関する問い合わせ先：対策本部広報委員会 担当・坂本（小学館広報室）
TEL (03) 3230-5962

以上